



アンネのバラ

# 吉高人権だより

2022年 10月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

## 私の人権感覚

家庭科 菊池 和子

私は絵を描くことが大の苦手です。もちろん、図工や美術の絵を描く時間は苦手でした(工作は得意です!)。私が学生だった頃には、色鉛筆やクレヨン、絵の具セットの中に「はだいろ」という色がありました。日本人の皮膚の色をイメージした薄いオレンジ色です。当時は「自分達の肌と似ている色だから肌色っていうんだな。」なんて思うこともないまま、当たり前前の感覚で使っていました。絵を描くことが苦手な私は、学校を卒業すると画材に触れることすらなくなり、「はだいろ」の存在をしばらく忘れていました。

その存在を思い出したのは、結婚をし、子どもが生まれてからのことです。長男が幼稚園に入園するための学用品の準備で、持ち物に名前を書いていた時に、クレヨンや絵の具のセットの中に「はだいろ」がないことに気付きました。正確に言えば、同じような色に「うすだいだい」や「パールオレンジ」という名前がついており、「はだいろ」という呼び方をしなくなっていました。調べてみると、「はだいろ」の呼び名が変わっていったのは2000年(平成12年)頃、「消費者から多様な国籍の人が暮らす社会で一つの色を「はだいろ」と決めつけるのは差別的だ」や「学校現場で『はだいろ』という名前を使って授業がしづらい」といった声が高まってきたからなのだそうです。これまでの私の人生の中で当たり前だと思っていたことが人種差別につながる恐れがあること、それをおかしいと思うことがなかったという事実に大きなショックを受け、自分の人権感覚を見直すきっかけになりました。

生徒のみなさんは自分の人権感覚をどのように考えていますか?人権に関する様々な出来事に出会ったとき、自信を持って自分の気持ちや考えを述べてほしいと思いますが、時には迷うこともあると思います。そんな時には、家族や友達、先生など、多くの人と話し合っ、多様な考えに触れてみましょう。ちょっとしたきっかけから、何か気付くものがあるかもしれません。

## 【人権・同和教育ホームルーム活動】



10月14日(金)、1・3年生が人権・同和教育ホームルーム活動を行いました。1年生は、「人権問題を考えるⅡ」をテーマに、各クラスで「インターネットと人権」、「生命倫理について」「黒人差別問題について」「LGBTQについて」などの題材を取り上げて学習を深めました。3年生は、「結婚差別解消に向けて」をテーマに学習に取り組みました。生徒の感想を紹介します。

・ちょっとしたことで、個人情報などがばらされたり、大きなことに繋がったりするので、使い方を考えて使用することが大切だと思った。認め合うことが大切。

・これまでにLGBTQに関する取り組みが色々行われてきましたが、それでもまだ困っている人達がいるという事を知り、そのような人達への今後の取り組みが気になりました。

・今回の結婚差別では、自分がする側にならないように今日学んだことを忘れないようにして、される側になったときはこうしようなどを考えていきたいと思った。

・差別は根深くあると思う。けれどこれはなくしていくことができる。自分たちの世代で解消しないとイケないと思う。

## 【地域の課題発見・解決プログラムの取組】



10月21日(金)、1G1の生徒が高齢者施設に配達するビオラの花を移植する作業を行ってくれました。1学期に種をまいたミニひまわりとグラジオラスは残念ながらうまく育たなかったので、今度はうまく行くといいですね。